

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
定めた日

単元株式数 100株
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先※) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先※) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

※ 2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社ホームページに掲載する
<http://www.daidoh-limited.com/>

ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部



■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

DAIDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室
〒101-8619
東京都千代田区外神田三丁目1番16号
TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



株主の皆様へ

第90期報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

DAIDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205





株主の皆様へ



代表取締役社長

大川 伸



代表取締役副社長

川西靖彦

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、経営の効率化を進めながら、製造から販売まで完結できる総合力を活かし、利益体質の構築を推進してまいります。

そして、この度、経営トップの交代による組織の活性化を目指し、大川・川西の2代表による新たな経営体制へ移行いたしました。今後とも株主の皆様のご期待に添えるよう、更なる躍進を果たすために全力を尽くす所存でございます。引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新経営体制のもと、更なる利益を生み出せる企業グループへと進化してまいります。

当期の営業の概況

当連結会計年度のわが国経済は、欧米の財政問題や世界的な金融不安の拡大に対する懸念などから国内景気と個人消費は先行き不透明な状況で推移いたしました。円高是正や株価上昇の動きなど国内経済回復への兆しが見え始めてまいりました。

しかしながら衣料品業界につきましては、景気の先行き不安や所得の伸び悩みなどによる消費マインドの変化の影響などから、引き続き厳しい状況下にあります。

このような経営環境が続くなか、日本国内の衣料事業につきましては、不採算店舗の撤退や販売経路の拡充をはかり、利益率や資金効率の悪いOEM（取引先ブランド製造卸）事業は撤退・

縮小を行なってまいりました。不動産賃貸事業につきましては保有資産を一元管理し効率的な運営を進め、連結業績を中心とした分社経営体制の強化をはかり、グループ総合力の向上に注力いたしてまいりました。中国につきましては、管理業務を担っていた会社を大都利美特（中国）投資有限公司に吸収合併し、経営の効率化を推進いたしてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は27,663百万円（前期比6.4%減）、営業利益は705百万円（前期比47.9%減）、経常利益は1,075百万円（前期比36.4%減）の計上となりました。

中長期的な取り組み

「お客様第一」「品質本位」の基本理念のもと、製造から販売まで完結できる総合力を活かしてまいります。

当社の主力ブランドである「ニューヨーカー」は、2014年にブランド創設50周年の節目の年を迎えるにあたりマーケティングを強化してまいります。多様化する顧客の志向への対応と新たな消費者への訴求のため、外部からブランドディレクターを招き、商品構成の強化を開始いたしました。また、中国を中心としたアジア市場につきましては、ブランド価値を確立するとともに、収益性向上を目指してまいります。

オーストラリアの羊牧場では、今年3月末に開催されました最も権威ある品評会「シドニー・ロイヤル・イースター・ショー」において、フリース部門で1位・3位（2部門）そして特別賞を受賞と大変高い評価を頂いております。今後も最高品質の羊毛の産出に取り組んでまいります。

中国における製造事業では、欧米の高級ブランドや高級百貨

店向けのOEM（取引先ブランド製造卸）の製造・販売を拡大し、さらにスーツ等のパターンメイドの需要に応えられるよう、品質を高めながら納期対応力とコスト競争力を向上してまいります。

オーダースーツストア事業「ミリオンクラブ」は、上海を拠点として着実な成長を目指してまいりました。国内においても、今年1月に千葉県幕張に第1号店をオープンし、都心での2号店の開店準備も進めております。

不動産賃貸事業は、商業施設「ダイナシティ」EAST館のリニューアルを予定しております。地域密着・地域貢献という原点を大切にしながら、エンターテインメント性の向上やファミリー層向けの対応を強化するなど、施設全体の魅力を高めてまいります。

今後も新経営体制のもと、更なる利益を生み出せる企業グループに進化し、その利益が新しいビジネスを発展させ、魅力的な製品・サービスを生み出し、社会に貢献することを目指してまいります。

特集①：MILLION CLUB 国内展開スタート

自社工場からお客様にダイレクトに商品をお届けするオーダーสู�ストア事業

「MILLION CLUB」が国内第1号店をオープン。



これまで当社は、オーダーสู�ストア事業「ミリオンクラブ」の展開を、生地づくりから縫製・加工までの当社一貫生産拠点を置く中国で行ってまいりましたが、2013年1月17日(木)、ついに、ミリオンクラブ国内1号店となる幕張店がオープンいたしました。

場所は、幕張新都心のランドマーク「ワールドビジネスガーデン」。200社を超える企業が入居し、約8,000人前後が働く巨大オフィスビルです。「สู�を必要としているビジネスパーソンが気軽に立ち寄れるสู�ストア」というミリオンクラブのコンセプトに適した立地として出店いたしました。

同店の今後の動向を検証しながら、ミリオンクラブの国内での展開を推し進め、「Good looking(見栄えの良さ)」、「Comfortable(着心地の良さ)」、「Durability(型くずれしない丈夫さ)」の三拍子揃ったสู�を、今後、中国のみならず日本のお客様にもお届けしてまいります。

幕張店の アクセス

【所在地】千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
ワールドビジネスガーデン マリブイーストタワー2階
TEL:043-298-1811
【交通】JR京葉線「海浜幕張」駅南口 徒歩2分
【営業時間】AM 11:00 ~ PM 8:00

特集②：ニューヨーカー 50周年に向けて

NEWYORKER

50周年を節目に、マーケティングと商品構成を強化。



2014年1月、ニューヨーカーはブランド創設50周年を迎えます。これを節目に、新たな「ニューヨーカー」ブランドの価値創造を目指して、輝かしい実績と経験を持つ藤田恭一氏をブランドディレクターに招き、商品構成の強化を図っております。

ニューヨーカーの象徴である「ハウスタータン」をイメージの核に据えながら、消費者の新たなニーズを掘り起こす斬新なカラーマーチャンダイジングを取り入れるなど、革新的かつ提案力の高い打ち出しを行ってまいります。





2013 春夏コレクションの紹介

ニューヨークの一角にある
ギャラリーで行われた、
とある現代絵画のエキシビションから
インスピレーションを受けて…。

今シーズンは、そんなギャラリーに集まる
高感度な人々のスタイルをイメージしたエ
レガントでモダンなNEWYORKERのス
トーリーを展開。

今シーズンの商品コンセプトは
“heritage”→“MODERN”。

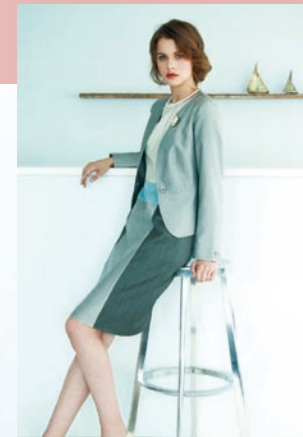
“heritage”とは、受け継がれた伝統。エ
キシビションのオープニングレセプション
パーティーをイメージした商品構成では、
ニューヨーカーが大切に育ててきた「ハウ
スタータン」をモチーフに60'sダークエレ
ガントスタイルを表現しています。

もう一つのコンセプト“MODERN”を軸
とした商品構成では、エキシビション・ギャ
ラリーシーンをイメージし、色の重なりが美
しいモダンアートのような鮮やかなコレク
ションとなっています。

また、MD展開として、アメリカズカップを
イメージしたマリンスタイルと、南仏プロ
ヴァンスをイメージしたリゾートスタイルを、
それぞれ表現した商品を取り揃え、春から
夏へと連なる着こなしをお楽しみいただけ
ます。

heritage-MODERN

Women's Spring & Summer Collection



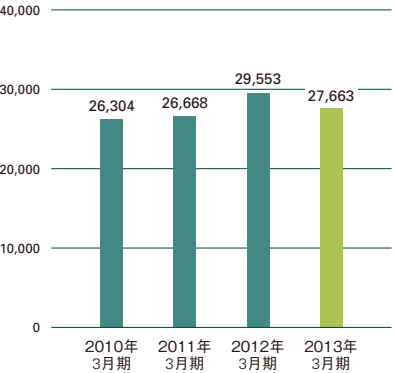
Men's Spring & Summer Collection



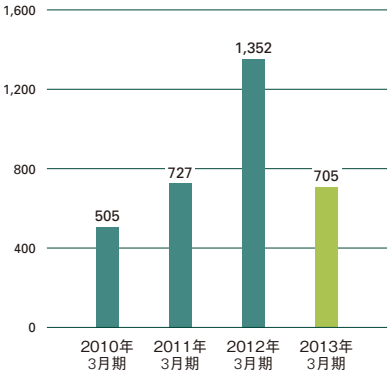
連結財務ハイライト

(特に記載のない限り2013年3月31日現在の状況です。)

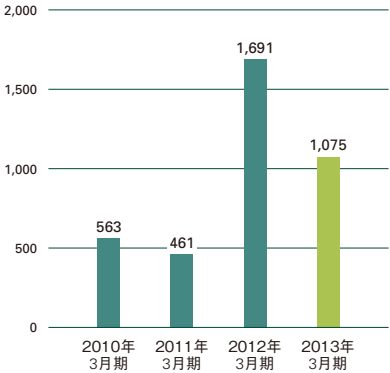
売上高 (単位：百万円)



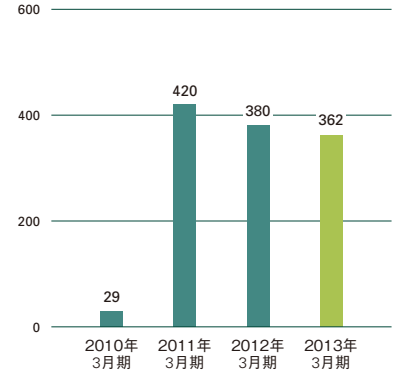
営業利益 (単位：百万円)



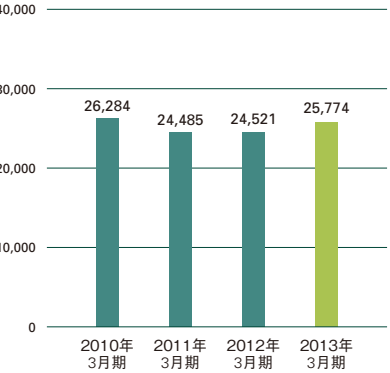
経常利益 (単位：百万円)



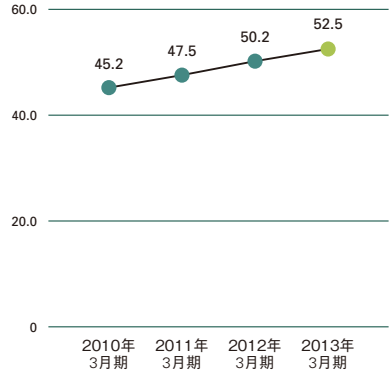
当期純利益 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：パーセント)



事業別営業概況 (連結)

衣料事業

OEM(取引先ブランド製造卸)の受注・販売は、一部事業の撤退を行なったことおよび当社グループの生産工場以外で製造加工する利益率・資金効率の低い事業を縮小したため、売上高は前期比で減少いたしました。

株式会社ニューヨーカーを中心とする小売販売につきましては、厳しい残暑などの天候不順の影響はありましたが冬物衣料の販売は堅調に推移し、売上高は前期比で増加いたしました。新しい販売チャネルとして取り組んでおりますオンラインストアは、取扱品目を拡大し会員数も増加して

順調に推移しており、他社が運営するサイトでの販売も拡大しております。オーダーズーツストア「ミリオンクラブ」は、日本での店舗展開を開始いたしました。

中国につきましては、小売販売の不採算店舗の撤退を行なったことなどにより売上高が減少し、製造部門は人件費の高騰などの影響により経費が増加いたしました。

以上の結果、売上高は23,048百万円(前期比7.4%減)、セグメント損失(営業損失)は631百万円(前期は営業損失168百万円)となりました。

不動産賃貸事業

小田原の商業施設「ダイナシティ」とオフィス賃貸の売上高は減少いたしました。経費の削減を進めたことで利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は4,817百万円(前期比2.1%減)、セグメント利益(営業利益)は1,151百万円(前期比0.4%増)となりました。

(注) 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております(合計額278億65百万円を分母として算出)。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

単位：百万円

前期末
2012年3月31日現在

当期末
2013年3月31日現在

増減額

資産の部

流動資産	13,242	25,587	12,344
現金及び預金	2,837	4,183	1,345
受取手形及び売掛金	4,154	3,132	△ 1,021
有価証券	－	11,714	11,714
たな卸資産	5,135	5,186	51
繰延税金資産	242	253	11
その他	929	1,162	233
貸倒引当金	△ 56	△ 46	9
固定資産	35,198	23,080	△ 12,118
有形固定資産	12,637	11,730	△ 907
無形固定資産	987	1,219	232
投資その他の資産	21,573	10,130	△ 11,443
投資有価証券	18,895	7,807	△ 11,087
繰延税金資産	500	397	△ 102
その他	2,389	2,307	△ 82
貸倒引当金	△ 211	△ 382	△ 171

資産合計	48,441	48,667	226
------	--------	--------	-----

流動資産

当期末の流動資産は、前期末に比べて123億44百万円増の255億87百万円となりました。これは主に、現金及び預金が13億45百万円増加したこと、固定資産の投資有価証券を流動資産の有価証券に組み替えたことにより有価証券が117億14百万円増加したことなどによるものです。

固定資産

当期末の固定資産は、前期末に比べて121億18百万円減の230億80百万円となりました。主に減価償却の実施により有形固定資産が9億7百万円減少したこと、投資有価証券が110億87百万円減少したことなどによるものです。

資産合計

資産合計は前期末比2億26百万円増加し486億67百万円となりました。

前期末
2012年3月31日現在

当期末
2013年3月31日現在

増減額

負債の部

流動負債	9,590	10,387	796
支払手形及び買掛金	1,352	947	△ 405
短期借入金	3,530	3,860	330
1年内返済予定の長期借入金	1,330	1,660	330
その他	3,377	3,920	542
固定負債	14,329	12,505	△ 1,823
長期借入金	6,170	4,510	△ 1,660
長期預り保証金	6,844	6,376	△ 468
その他	1,314	1,619	304

負債合計	23,919	22,893	△ 1,026
------	--------	--------	---------

純資産の部

株主資本	24,476	23,716	△ 760
資本金	6,891	6,891	－
資本剰余金	8,687	8,657	△ 29
利益剰余金	12,683	12,016	△ 667
自己株式	△ 3,786	△ 3,849	△ 63
その他の包括利益累計額	△ 178	1,819	1,998
その他有価証券評価差額金	100	1,414	1,314
為替換算調整勘定	△ 278	405	683

新株予約権	140	153	12
少数株主持分	82	84	2

純資産合計	24,521	25,774	1,252
負債純資産合計	48,441	48,667	226

有利子負債

有利子負債残高は、前期末に比べて10億円減の100億30百万円となりました。短期借入金を3億30百万円増額し、長期借入金13億30百万円を返済いたしました。

負債合計

支払手形及び買掛金、長期借入金、長期預り保証金が減少したことなどから、負債合計は前期末比10億26百万円減少し228億93百万円となりました。

純資産合計

利益剰余金が減少した一方、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから、純資産合計は前期末比12億52百万円増加し257億74百万円となりました。
この結果、自己資本比率は前期末比2.3ポイント向上し52.5%となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書(要旨)

単位：百万円

	前期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	増減額
売上高	29,553	27,663	△ 1,889
売上原価	15,169	13,581	△ 1,587
売上総利益	14,384	14,082	△ 301
販売費及び一般管理費	13,032	13,377	345
営業利益	1,352	705	△ 647
営業外収益	801	738	△ 63
営業外費用	463	368	△ 94
経常利益	1,691	1,075	△ 615
特別利益	126	1,238	1,112
特別損失	354	1,350	995
税金等調整前当期純利益	1,463	964	△ 498
法人税、住民税及び事業税	317	864	546
法人税等調整額	766	△ 255	△ 1,022
少数株主損益調整前当期純利益	379	355	△ 23
少数株主損失	△ 1	△ 6	△ 5
当期純利益	380	362	△ 18

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：百万円

	前期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	131	2,992	2,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 450	592	1,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,348	△ 2,275	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 35	36	72
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,702	1,345	4,048
現金及び現金同等物の期首残高	5,540	2,837	△ 2,702
現金及び現金同等物の期末残高	2,837	4,183	1,345

売上高

売上高は前期比6.4%減の276億63百万円となりました。これは主に、OEM(取引先ブランド製造卸)の受注・販売について、一部事業の撤退を行なったことおよび当社グループの生産工場以外で製造加工する利益率・資金効率の低い事業の縮小をしたことによるものです。

売上総利益

売上総利益は、OEM製造卸の売上高が減少したことにより、金額については3億1百万円減少いたしました。売上高比は前期比2.2ポイント向上し50.9%となりました。

営業利益

営業利益は、前期比6億47百万円減少して7億5百万円となりました。これは主に、売上総利益額が減少したこと、中国の製造部門の人件費増加の影響により販売費及び一般管理費が増加したことなどによるものです。

当期純利益

当期純利益は、前期比18百万円減少して3億62百万円となりました。これは主に、投資有価証券売却益等の特別利益、投資有価証券売却損や固定資産除売却損等の特別損失を計上したことなどによるものです。

グループ編成

事業活動と
主要なグループ会社

当社グループの連結子会社は12社、持分法適用関連会社は1社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本理念を共有して事業運営に当たっております。



衣料事業

製造 大同利美特(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)
大同佳染登(馬鞍山)有限公司
(DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)
大同利美特時裝(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)
大同利美特染整(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

販売 株式会社ニューヨーカー
上海纽约克服装销售有限公司
(SHANGHAI NEWYORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)
愛雅仕商貿(北京)有限公司
(ARNYS TRADING (BEIJING) CO., LTD.)
株式会社ダイドーインターナショナル
大同利美特商貿(上海)有限公司
(DAIDOH INTERNATIONAL (SHANGHAI) CO., LTD.)
*株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン



貿易 大同利美特貿易(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)

*=持分法適用関連会社

不動産賃貸事業

株式会社ダイナシティ



統括及び管理会社

大都利美特(中国)投資有限公司
(DAIDOH LIMITED (CHINA) HOLDINGS CO., LTD.)

*2012年12月に、大都利美特(中国)投資有限公司は大同利美特(上海)管理有限公司を吸収合併いたしました。

(特に記載のない限り2013年3月31日現在の状況です。)

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド
DAIDOH LIMITED

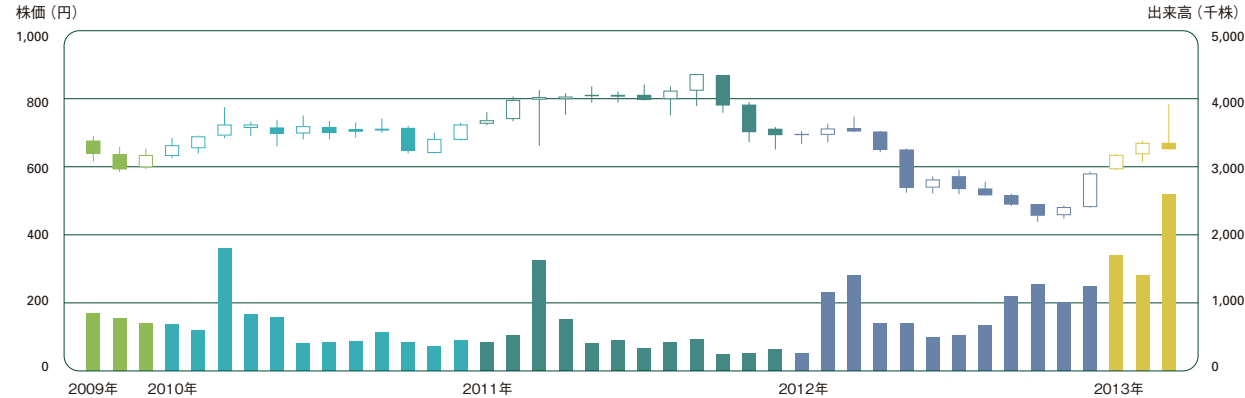
創業 1879年(明治12年)1月
設立 1949年(昭和24年)10月17日
資本金 6,891,851,938円

取締役および監査役 (2013年6月27日現在)

代表取締役社長 大川 伸
代表取締役副社長 川西 靖彦
常務取締役上席執行役員 戸澤 かない
取締役上席執行役員 田口 正幸
取締役執行役員 村尾 勤
取締役執行役員 福羅 喜代志
監査役(常勤) 林 玄
監査役(常勤) 鈴木 森夫
監査役(弁護士) 田口 哲朗
監査役(弁護士) 武田 昌邦

(注) 田口哲朗、武田昌邦の両氏は、社外監査役であります。

株価の推移グラフ



主要な事業所

本社 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

従業員の状況

株式会社ダイドーリミテッド 75名
企業集団の合計 1,714名

主な借入先

借入先	借入金残高
株式会社みずほコーポレート銀行	3,130百万円
三井住友信託銀行株式会社	3,130百万円
株式会社三井住友銀行	1,770百万円

(注) 上記には株式会社みずほコーポレート銀行を幹事とする9行の総額2,000百万円のシンジケートローンは含まれておりません。

株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株

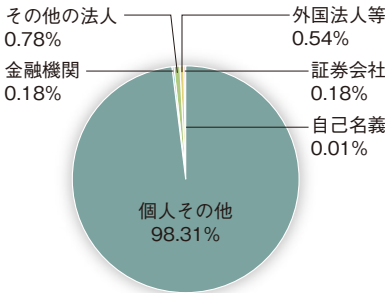
株主数 16,201名
(前期末 11,811名)

大株主

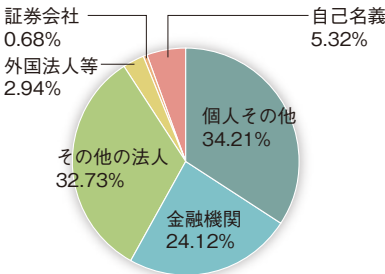
株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	76,000
株式会社ソー	15,950
三井住友海上火災保険株式会社	12,927
三井住友信託銀行株式会社	11,340
株式会社みずほコーポレート銀行	11,283
明治安田生命保険相互会社	9,310
ダイドーリミテッド取引先持株会	5,402

(注) 当社所有の自己株式(2,005,567株)および資金管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)所有の当社株式(1,796,500株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。